モーダルシフトの推進について

海上輸送モーダルシフト推進検討会の設置

・昨年１０月、海上輸送（フェリー、ＲＯＲＯ、コンテナ船等）へのモーダルシフトの一層の推進のため、関係事業者をメンバーとする検討会を設置

〈検討事項〉①船舶建造と港湾埠頭整備等との連携の推進
②海運事業者が荷主等へ海上輸送の特性をアピールする方策
③事業展開・行政運営のために必須な統計データのあり方

《今後の取組み》

①船舶建造と港湾埠頭整備等との連携の推進

【課題】 <u>港湾整備と海運事業者による船舶建造のスケジュールが整合しないケースが存在するため、効率的な施設整備に向けた海事・港湾の連携による各事業者のプロジェクトへの支援が必要</u>

ex. 船舶の大型化、新規航路の開設、寄港地の追加等に際し、大型化に対応したバースの延長・拡充や荷役の効率化のためのダブルデッキ対応荷役施設の設置等が必要

本　省
・事業者ニーズの把握（事業者単位のヒア）
・関係諸施策との連携　　等

⇔ 連携

・事業者ニーズの把握（港単位のヒア）
・地方整備局、港湾管理者等との調整
・事業者を交えた地元連絡会の開催　　等
地方運輸局等

②海運事業者が荷主等へ海上輸送の特性をアピールする方策

【課題】 <u>海上輸送の荷主は運送事業者であることが多いため、メーカー等の実荷主、経済団体等に対し直接PRが出来ないか</u>

〇省エネ法に基づくCO2削減計画に貢献する海上輸送サービス
〇3PLとの連携による輸送サービス

⇒ **地域単位で、荷主・経済団体等を含めた協議会等の場においてPR**

③事業展開・行政運営のために必須な統計データのあり方

【課題】 <u>フェリー、RORO船、コンテナ船の総輸送量、コンテナ個数、シャーシ台数等を把握するための統計データの統一化</u>

〇実務担当者で構成するWGにおいて、統計単位の統一化に向けた検討を実施

各地域においてモーダルシフト推進に向けた具体的な取組みを展開